



三菱電機
ビル用マルチエアコン別売部品
高静圧キット

形名
PAC-KS46PK

取付説明書 (販売店・工事店様用)

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	2
1. 使用部品	5
1-1. 同梱部品	5
1-2. 製品運搬と開梱時のお願い	5
2. 使用箇所 (取付作業の概要)	6
2-1. 使用部品の取付位置	6
3. 取付作業	7
3-1. 取付前の確認事項	7
3-2. モータキットの取外し	8
3-3. 高静圧モード設定方法	9
3-4. 高静圧キットの取付け	9
4. 取付作業後の確認	10
4-1. 取付作業のチェックリスト	10
5. お客様への説明	11

- ・ 室外ユニット据付けに関する内容は、室外ユニット本体に添付の据付工事説明書に従ってください。

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付作業が必要です。取付作業の前に、この説明書を必ずお読みください。

- ・ 「取付説明書」は大切に保管してください。
- ・ お客様ご自身では、取付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- ・ この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り付けてください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しく下さい。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しく下さい。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しく下さい。



警告

電気配線工事は「第一種電気工事士」の資格を保有する者が行うこと。

一般事項



警告

以下の特殊な環境では使用しないこと。

- ◆油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ

- ◆酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ



使用禁止

- ◆性能低下・腐食によるけが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

改造はしないこと。

- ◆冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

取付作業・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。

- ◆工具などが落下すると、けがのおそれあり。



禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- ◆冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



接触禁止

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。

- ◆火傷・感電のおそれあり。



接触禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- ◆けが・感電のおそれあり。
- ◆回転機器により、けがのおそれあり。



指示実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆ お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆ 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ◆ ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



注意

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



電気部品に触る場合は、保護具を身に付けること。

- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。



部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



作業する場合は保護具を身に付けること。

- ◆ けがのおそれあり。



取付作業をするときに

警告

梱包材は破棄すること。

- ◆ 窒息事故のおそれあり。



付属品の装着や取り外しを行うこと。

- ◆ 不備がある場合、冷媒が漏れ、酸素欠乏・発煙・発火のおそれあり。



販売店または専門業者が取付説明書に従って実施すること。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・火災のおそれあり。



注意

配管・配線取出口の開口部は、塞ぐこと。

- ◆ 小動物・雪・雨水が内部に入り、機器が損傷・故障すると、漏電・感電のおそれあり。



モータの軸は持たないこと。

- ◆ 落とすとけがのおそれあり。



電気工事をするときに

警告

配線が冷媒配管・部品端面に触れないこと。

- ◆ 配線が接触した場合、漏電・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



禁止

配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- ◆ 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を
実行

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- ◆ 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を
実行

取付作業をする場合、主電源を切ること。

- ◆ けが・感電のおそれあり。



指示を
実行

電気工事は、第一種電気工事士の資格所持者が以下に従って行うこと。

- ◆ 電気設備に関する技術基準
- ◆ 内線規程
- ◆ 取付説明書



指示を
実行

- ◆ 施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

移設・修理をするときに

警告

分解・改造はしないこと。移設・修理は販売店・専門業者に依頼すること。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

雨天の場合、サービスはしないこと。

- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ
禁止

修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- ◆ 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。

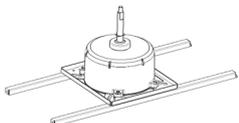
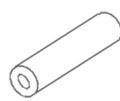


指示を
実行

1. 使用部品

1-1. 同梱部品

本製品には下記部品が同梱されていますので取付前に確認してください。

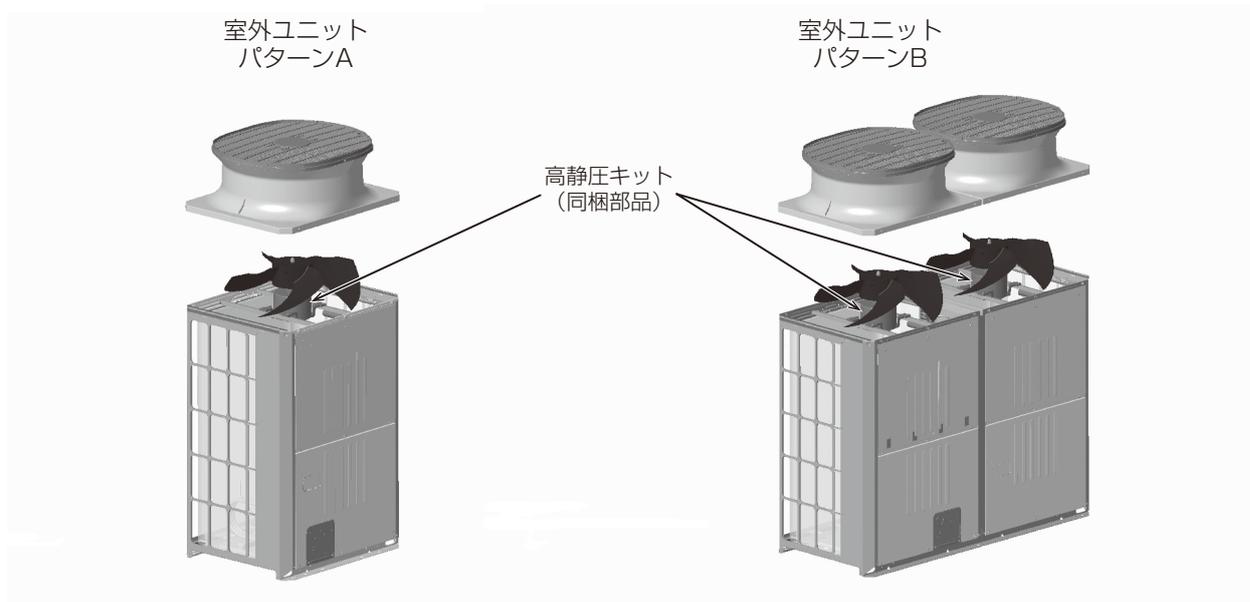
品名	D-1 高静圧キット	D-2 ラベル	D-3 パイプカバー	D-4 結束バンド
形状				
個数	1	1	1	3

1-2. 製品運搬と開梱時のお願い

同梱部品に不足がないか、取り出して確認をお願いします。

2. 使用箇所 (取付作業の概要)

2-1. 使用部品の取付位置



3. 取付作業

警告

取付作業をする場合、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。



指示を
実行

注意

作業する場合は保護具を身に付けること。

- けがのおそれあり。



指示を
実行

3-1. 取付前の確認事項

お願い

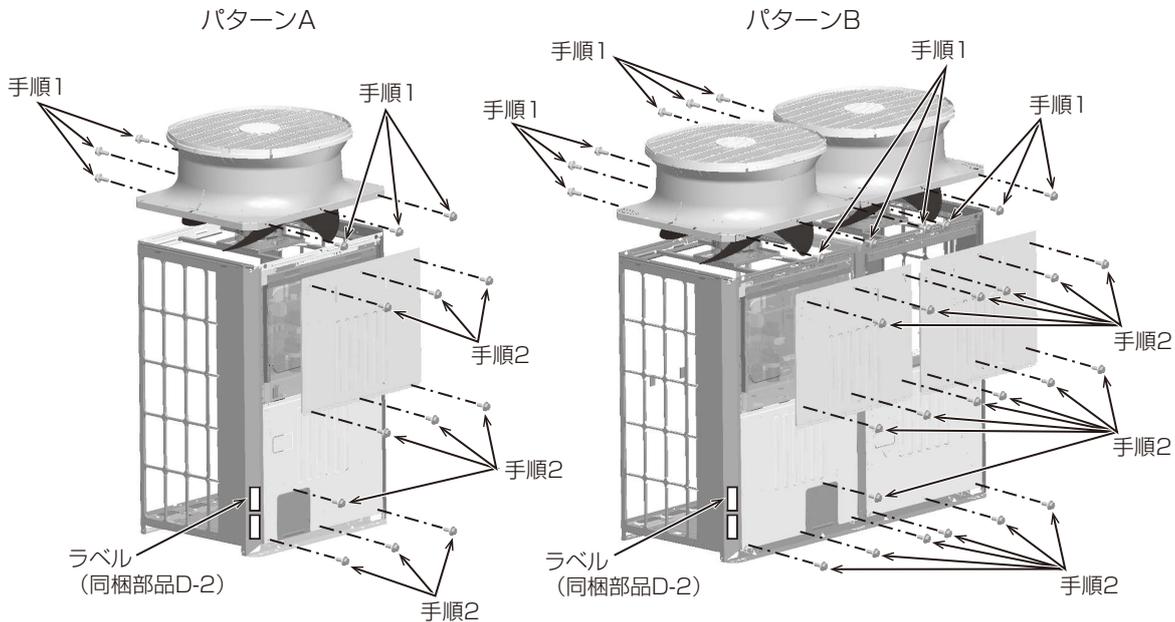
- 室外ユニット本体の主電源がOFFであることを確認してください。
作業は主電源OFF後10分以上経過してから実施してください。
- 電源遮断後プロペラファンが回転していないこと、インバータ主回路コンデンサがDC20V以下であることを確認してください。詳細は電気配線図銘板を参照してください。
(強風などによりプロペラファンが回転すると、主回路コンデンサに蓄電されています)
- モータのシャフトを持たないでください。
(シャフトを持つとシャフトに塗布している防錆油が取れ、錆が発生する原因になります)

3-2. モータキットの取外し

取外しの際、配線経路や結束バンドの位置を元どおりにできるように配慮してください。

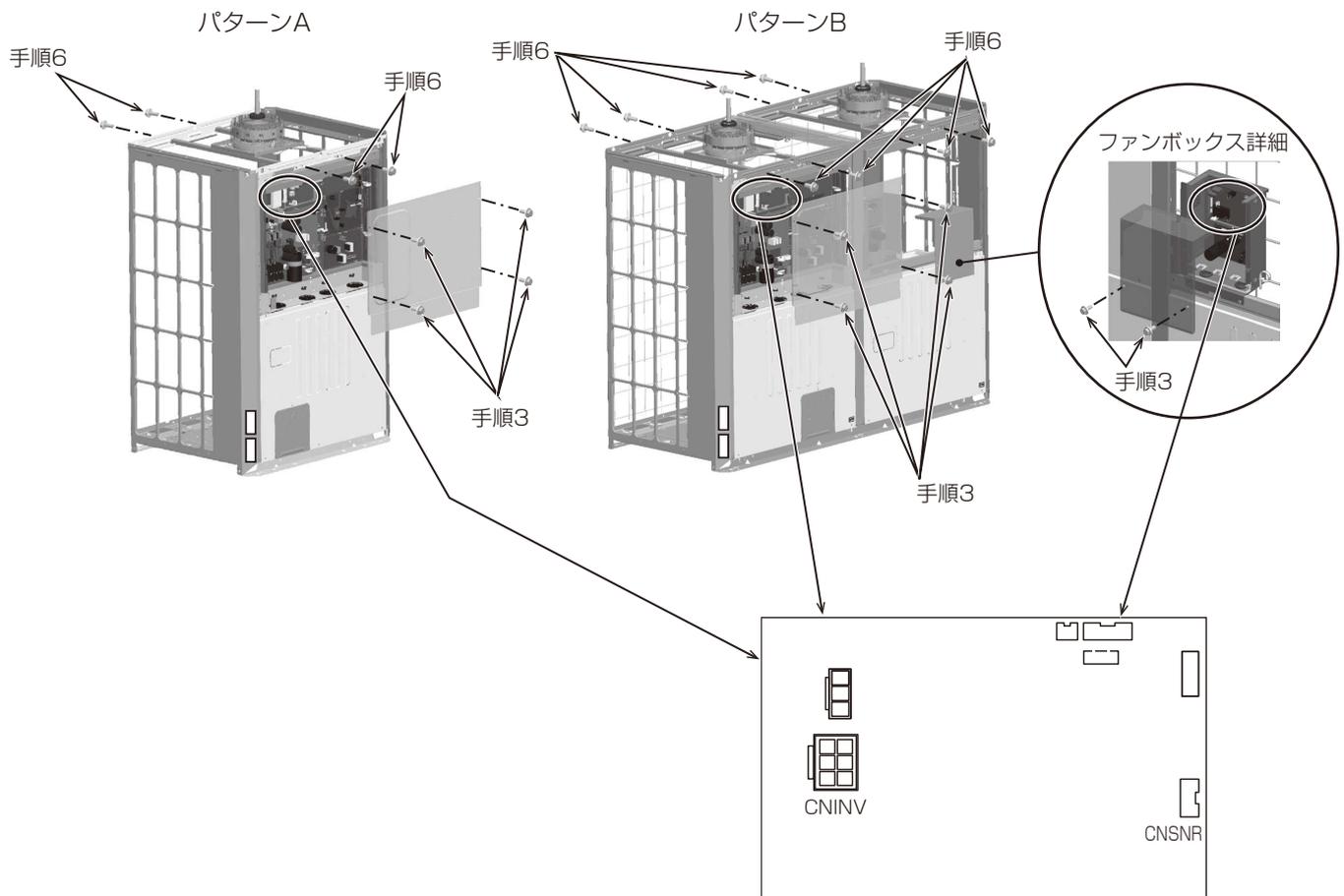
手順

1. 下図の「手順1」に示すねじを外し、ファンガードを取り外す。
2. 下図の「手順2」に示すねじを外し、前パネルを取り外す。

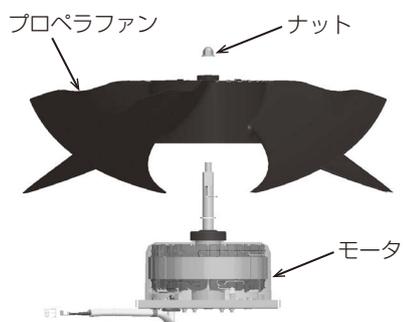


3. 下図の「手順3」に示すねじを外し、制御箱の前カバー、ファンボックスの前カバー（パターンBのみ）を取り外す。

- ・ 制御箱およびファンボックスの前カバーを外す際、ファンが回転していないことを確認してください。



4. インバータ主回路コンデンサがDC20V以下であることを確認し、ファンインバータ基板上のコネクタ (CNINVとCNSNR) を抜く。
 - ・ 室外ファンが2基搭載された機種 (パターンB) は、ファンボックス内のファンインバータ基板についても同様の作業をしてください。
 - ファンインバータ基板については、電気配線図銘板を参照ください。コネクタ位置は手順3.の下図を参照してください。
5. 下図に示すナットを外し、プロペラファンを取り外す。
 - ・ ナットは逆ねじ (緩む→時計回り) になっているので、緩める方向を確認してください。



6. 手順3.下図の「手順6」に示すねじを取り外す。
7. モータキットをユニットから下ろす。
 - ・ モータの重量は約15kgあるため安定した作業姿勢で行ってください。

3-3. 高静圧モード設定方法

制御基板 SW6 を下表のとおり設定することで、設定静圧を変更できます。SW6 については、電気配線図銘板を参照してください。

設定静圧	SW6-4	SW6-5
30Pa	ON	ON
60Pa	ON	OFF

3-4. 高静圧キットの取付け

手順

1. 「3-2. モータキットの取外し」と逆手順で行ってください。

お願い

- ・ 取付けの際、ねじおよびナットはすべて元どおりの位置に取り付けてください。締付トルクは、下表のとおりです。

	締付トルク	備考
ねじ (手順 1 ~ 3, 6)	$2.7 \pm 0.2\text{N} \cdot \text{m}$	—
ナット	$20.0 \pm 2.0\text{N} \cdot \text{m}$	逆ねじのため締付け方向を確認してください。

なお、ナット締結の際、プロペラファンとモータシャフトの挿入部がDカット構造になっていますので、奥まで挿し込まれていることを確認してください。

2. ラベル (同梱部品 D-2) を定格メイバン上に貼り付ける。(「3-2. モータキットの取外し」の手順2.下図参照)

4. 取付作業後の確認

取付作業が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。)

4-1. 取付作業のチェックリスト

点検内容	点検結果
部品はすべて取り付けていますか。	
熱交換器や配管に傷はありませんか。	
ねじに緩み、締め忘れはありませんか。	
コネクタに緩みはありませんか。	
配線と配管が接触していませんか。	
適切に SW 設定はされていますか。	
モータに異常音はありませんか。	
ファンとファンガードの接触はありませんか。	

5. お客様への説明

- この取付説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- お使いになる方が不在の場合は、オーナー様・ゼネコン関係者様や建物の管理人様にご説明ください。
- この取付説明書は、取付け後お客様にお渡しください。
- お使いになる方が代わる場合は、この取付説明書を新しくお使いになる方にお渡しください。

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)
冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2020年4月作成

WT09654X01